



Ma~ri~s Corner マリーの物がたい

マリコ・クック Mariko Cook
2012年8月から国際交流員として、
浦添市役所国際交流課に配属される。
米国インディアナ州出身
原文・和訳：マリコ・クック

ソーシャルメディアで繋がっている

最近では、どの国でも技術が進歩し、世界中どこに行ってもインターネットが接続されていますね。

私は、定期的にJICA沖縄国際センターの研修員の通訳をしています。研修員の皆さんはアフリカ、中南米、東南アジアやオセアニアの国々から来ていますが、いつも最新のスマートフォンを持っているのを目にすると携帯電話などの通信技術の進歩を感じます。また、研修員の皆さんからたまに「フェイスブックしてる？」と声を掛けられることもあり、どこに行っても人々はソーシャルメディアで繋がっているなと思います。

私は小学生の頃から引越しが多かったので、中学生の頃には、友達と連絡を取るためにソーシャルメディアやE-mailを使用していました。そして、今ではフェイスブックやLINE、インスタグラムというアプリケーションが私には欠かせないソーシャルメディアとなっています。私は単身沖縄で生活し、家族や多くの友達と離れているので、無料でメールと電話が掛けられるLINEには助けられています。また、インスタグラムでは旅行で撮った写真などを編集し、友達と共有しています。

ソーシャルメディアでいつでも、誰とでも連絡が取れる時代になりました。世界は広いけど、インターネットのおかげでみんなが繋がっています。

Connected by Social Media

As of lately, technology is developing in all countries and no matter where you are in the world, you are connected to the Internet.

I periodically work as an interpreter for participants from the JICA Okinawa International Center. The participants hail from countries in Africa, Central and South America, Southeast Asia and Oceania; I always spot them with the latest versions of smartphones, and it's obvious as to just how far cellular phones and their communication technology have come along. Sometimes the JICA participants will casually ask me, "do you have a Facebook?" at which point I realized anywhere you go in this world, everyone is connected through social media.

I've moved around a lot ever since I was in elementary school and around the time I was in junior high, I began using social media sites and email to keep in touch with my friends. Now, Facebook and applications such as LINE and Instagram are imperative to my everyday life. Due to me living alone here in Okinawa and being far away from a lot of my family and friends, with being able to send messages and make phone calls for free with LINE, it's such a huge help. I also enjoy using Instagram, where I can edit and post pictures I've taken on trips to share with my friends.

We are now living in a generation where we can get in touch with anyone by using social media. The world is enormous, but thanks to the Internet, we're all connected.

浦添市は財政が豊かな街だと思っていました。市内に大手企業が存在し、米軍基地を抱え、平均年齢も若く、高齢化もそれほど深刻な程ではないからです。ところが、市長になってからも職員から聞かされるのは「お金がない」と言う話ばかりです。一体本市の財政、つまりおサイフ事情はどうなっているのでしょうか。

様々な財政分析の指標がありますが、今回は経常収支比率という指標を取り上げます。これは市が1年間で使うお金全体(歳出)を100とした場合に、行政サービスを提供・維持するために必要最低限のお金はどの程度なのかを表した比率です。平成24年度は約92%でした。これは本市の行政運営に最低限度必要な支出が全体の92%に達し、新たなサービスや政策など投資的経費として使えるお金が約8%しかないという状況です。

とです。家計に置き換えると、月収20万円のご家庭で家賃や食費、光熱費などの最低限度の必要経費だけで18万4千円を使い、自由に使えるお金が1万6千円しかないということ。更に私が本心に心配しているのは、今後、支出が増大していくことが現実なことです。浦添市でも社会の高齢化に伴い、社会保障費が毎年約1億円づつ増えます。また、モノレール延長事業で毎年大きな支出が発生します。グリーンセンターの施設の老朽化に伴い代替施設について計画的に約7.5億円の基金を準備しておかなくてはなりません。更に上下水道管の付け替え費などの支出も増えていきま

す。先ほどの家計で例えると、自由に使えるお金は少ないのに、来年春には子どもが大学へ進学し、入院治療を医者から迫られ、車の維持費用に加え、買い替えも検討しなくてはならない、そんな状況なのです。

結論から言えば、浦添市は、出張市やデトロイト市のように財政破綻を心配する程ではありませんが、財政的に決してゆとりがある自治体ではないということです。だからと言って財政難を理由に本当に必要な行政サービスを削るわけにはいきません。同時に、現在とは異なる社会情勢の中で始まった過去からの事業や補助金等の支出も一度始めてしまうと財政的に厳しい状況となってもなかなか止められないのが、行政サービスの実現でもあります。そんな現状の中で新しい浦添市をどうやって創造していくのか。やるべきことは明らかです。

松本市長の「バイサイ、こちろ市長室！」



浦添市長 松本哲治

お問い合わせ
8 7 6 1 2 5 6 3
（内線）

ウラボエ仮面の〜っ。あんな話や!こんな話!

「つば九郎が浦添にやって来た」の巻

市民の皆さん、もう師走ですね〜。年末年始の予定は立てましたか?

さて、11月5日から8日の4日間、「つば九郎DVD沖縄・浦添編」の撮影がありました。

ヤクルト球団のキャンプ地であるということで、ロケ地に抜擢され、市民球場をスタートに市役所庁舎、浦添グスクようどれ館、美術館やサンシルクなど、つば九郎が市内各地を周りまわりました。わんぱくキャラのつば九郎はヤクルトスフローズのマスコットとして人気者です。ウラボエ仮面は、毎日、取材に同行したせいかつば九郎やスタッフの皆さんとお別れのときに、淋しさが込み上げてきました。しかし、明るく「お疲れ様〜」との労いの言葉をクールに掛けました。

つば九郎DVDの完成は、12月予定です。つば九郎を通して多くの方に浦添市を知ってもらいたいですね!来年2月のヤクルト球団キャンプが待ち遠しいです。

年末年始のイベント情報はうらそえナビで検索♪ [うらそえナビ](#)

つば九郎の撮影密着!!



問い合わせ 浦添市観光協会(商工業課内) ☎876-1234 (内線3167)

てだっ子 STUDIO スタジオ



「てだっ子Studio」写真募集
●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月5日までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月,1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)・一言コメントの記入を忘れずに!
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1 浦添市役所 国際交流課 ☎876-1234 (内線2613・2614) E-mail : kokusai@city.urasoe.lg.jp